

組立てる前に…

**[1] 壁取付位置の確認**

屋根の裏側にあたる垂木側の全てに壁取付位置の青線がついています。

壁接着用のりしろ(中央部のみ)は壁が立つ位置を示すこの青線で折り曲げて、壁に接着します

**★注** 軒厚で折り返された屋根(垂木側)は裏側のこの赤線部分に「屋根裏貼」ののりをつけて接着しますが、裏側は白紙のため取付位置の目印が何もありません

**[2] 折目入れと目印線引き <屋根の裏面>**

①屋根ごとに大雑把にまず切り分けます。  
②折線全てにインクの切れたボールペンなどで折目を入れ、折って折グセを付けます。  
③次にすべての屋根の屋根厚を接着する屋根厚取付の目印線を裏側から鉛筆で引いておきます。

**★重** 全ての屋根の裏側の軒下線から上(瓦側)に17mmの所に鉛筆で目印の線を引いてください

表から付けた折線を目印に作業をします

※東屋根の裏側の例

<白紙の裏側図>

屋根厚取付線

軒下線折線

17mm

**[3] その後に、全てを精密に切り抜く**

例:北2屋根 ※40%に縮小

**★注** 点線は折線です。切り落とさないようご注意ください。

型紙の  
厚口を  
ご使用下さい!

プリント用紙は  
市販の両面印刷用等90kg以上の厚口紙をお選び下さい

<組立開始>…まずは **東屋根** から

**1 母屋を接着**

母屋ののりしろを屋根の下に潜り込ませ○印を合わせて真っすぐに接着する

**★注** のりが充分付いてなければ紙が浮き上がってきます

**★P!** ○印がぴったり合わないと屋根が歪んできます

**2 母屋が接着されました**

横から断面を見ると…

接着済

上図の緑●の部分は、母屋が左図のように奥に入りこむ時の、その奥行き面積になります

**3 母屋は屋根の下へまわしておく**

**★注** のりが充分乾いてから屋根を少し持ち上げて、ゆっくり母屋の上まわします

**★重** 次の作業の準備が必要